

申込方法

右の QR コードよりお申し込みください。

【受付期間：8月28日（木）～9月25日（木）まで】



▲申込フォーム

注意事項

- 締め切り前でも定員（30名）に達した場合、受付を終了する場合があります。
- 同一の法人及び団体からのお申し込みは原則として5名までとさせていただきます。（お申し込みは1名ずつお願いします）

お申し込みから受講までの流れ

1 お申し込み

お申し込み内容により受講資格を満たした方に、受講料振込用紙等の手続き書類を郵送します（9月中旬より順次発送予定）。

※QRコードからお申し込みができない場合、下記アドレスへお問い合わせください。
お問い合わせ先 ▶ rcccd-hu@edu.hokudai.ac.jp

2 受講料を振り込む

1の郵送物に同封している受講料振込用紙で受講料を納付の上、振込票控などの手続き書類を「返信用封筒」で返送してください。詳しくは、郵送される「手続要領」をご確認願います。

3 受講する

手続き書類一式の返送と受講料のお振込が確認できた方に、「受講登録完了」の通知メールをお送りします。通知メールの受信をもって、本講座への受講手続き完了となります。

【お問い合わせ先】 北海道大学・子ども発達臨床研究センター（担当：南谷）

住所：〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目

E-mail： rcccd-hu@edu.hokudai.ac.jp

主催：北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター

北海道大学・子ども発達臨床研究センター 公開講座 2025

専門職のための

北大子ども学ゼミナール



講師：川田 学

北海道大学大学院 教育学研究院・教授
附属子ども発達臨床研究センター・センター長

10月開講（10月～12月/全3回）

第1回 いま、なぜ「子ども理解」か
10月25日（土）13：15～16：30

第2回 子どもをあらわすということ
11月29日（土）13：15～16：30

第3回 子どもと環境との関係について
12月20日（土）13：15～16：30

会場

北海道大学

人文・社会科学総合教育研究棟 W410

受講料

10,800 円
（全3回）

受講資格

- ・保育者、学校教員、学童保育や子育て支援等の実践者
- ・全3回受講できる方

定員 30 名

【受講申込】「申込方法」をご確認の上、専用のフォームよりお申し込みください。

▶申込受付期間：8月28日（木）～9月25日（木）

講座概要

本講座は、以下を目的に開講します。

- ・座学とワークショップを通して、「子ども理解」の理論と実践を結ぶ視点を得ること。
- ・子どもに関わる専門職の領域を越えた交流を深めること。



Message

今から 70 年ほど前、北大教育学部で「児童文化講座」が開かれ、全道から多くの保母や教師が集ったそうです。「北大子ども学ゼミナール」は、時を越えて、子どもに関わる仕事の同志を集めて行う自主的な学びの場です。次代を担う若手から中堅を中心に、幅広く参加していただけると嬉しいです。

(講師 川田 学)

●各回のテーマと内容● (各回とも 13 時 15 分～16 時 30 分)

第1回 10月25日(土)

いま、なぜ「子ども理解か」

保育・教育実践における「子ども理解」という考え方の基礎を学ぶ

第2回 11月29日(土)

子どもをあらわすということ

保育・教育実践において子どもをどう表現するか、記録の考え方について学ぶ

(ゲスト講師：宮武 大和氏)

第3回 12月20日(土)

子どもと環境との関係について

子どもを関係的存在とみるということ、「環境」の考え方について学ぶ

●講師プロフィール●



川田 学 (全3回)

北海道大学大学院 教育学研究院・教授
附属子ども発達臨床研究センター・センター長

専門は発達心理学。保育・教育の実践に即した子ども理解と発達理解について研究を行っている。主な著書に、『子どもをあらわすということ』(北大路書房)、『保育的発達論のはじまり』(ひとなる書房)



宮武 大和 (第2回ゲスト講師)

札幌トモ幼稚園・主幹教諭
附属子ども発達臨床研究センター・学外研究員

子どもたちと共に過ごす日々で出会う、宝物のような瞬間を見つめ、写真を通して記録する活動を続けている。

全3回をすべて受講
された方には、
修了証を授与します。



本講座は、全3回の受講を前提とした内容で構成いたします。欠席された場合、受講料の返金には対応できませんのでご了承ください(主催者都合による休講を除く)。